

石川県立歴史博物館

年 報

第16号
平成24年度版

発行にあたって

平成24年度は、2つの特別展と2つの企画展、あわせて4つの展覧会を基本として博物館活動を行いました。

春季特別展「れきはく特選資料展 ―収蔵庫からお宝登場―」では、昭和62年の開館以来収蔵してきた17万点余りの資料のうち、普段はまとめて見ることのできない貴重な指定文化財を一挙に公開しました。夏季特別展では「マンダラ ―チベット・ネパールの仏たち―」を開催し、インドやチベット、ネパールの神像・仏像を中心に、マンダラに表された様々な神々を紹介しました。また同展開催にあわせて、併設企画展「北陸の曼荼羅」も開催し、北陸に伝わる曼荼羅の数々もご覧いただきました。リニューアル休館前の最後の展覧会となる企画展「学芸員の眼 ―とっておきモノがたり―」では、当館学芸員全11名が、それぞれに思いを込めた独自の展示コーナー（11区画）を構成し、紹介しました。当館コレクションと過去の活動を振り返り、リニューアル後の当館のあり方を探ろうという試みで、来場者に好評を博しました。

また、平成19年度から継続開催している「石川の歴史遺産セミナー」は、平成22年度より「能登」をテーマとしております。3年目となる平成24年度は計3回開催し、「能登」を巡る研究課題を様々な角度から検証しました。

博物館リニューアルに関しては、平成22年度に取りまとめられた『歴史博物館リニューアル基本構想』をもとに、具体的な展示内容や博物館機能の改善、サービスのあり方などについて討論を重ね、平成24年度末には実施設計も固まりました。平成25年3月からは休館に入り、リニューアル工事もいよいよ本格的に開始されましたが、リニューアルオープンプレ企画展や各種講座などの様々な事業は、休館中も会場を館外に移して実施する予定です。「誰もが楽しく学べる博物館」「人にやさしい博物館」をコンセプトに、交流や学びの場として皆様に一層親しまれる施設となるよう、努力を続けていきたいと考えています。

ここに、平成24年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月

石川県立歴史博物館

目 次

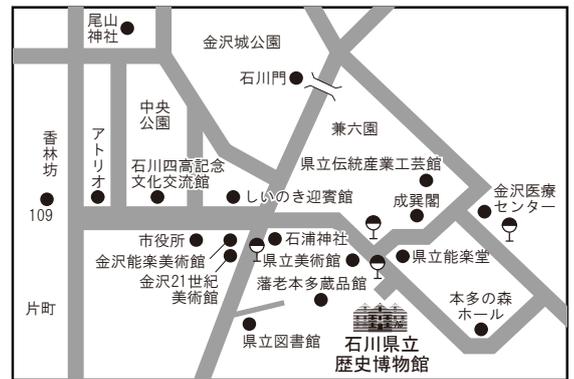
基本構想・利用案内	2	Ⅲ. 組織と運営	
Ⅰ. 平成24年度の事業		1. 職員組織	32
1. 展示活動	3	2. 職員名簿	32
2. 調査研究活動	16	3. 予算及び決算	32
3. 資料収集保管活動	18	4. 事務分掌	33
4. 教育普及活動	22	5. 各種委員会	34
5. 入館状況	27	6. 入場料について	35
6. リニューアルの概要	28	Ⅳ. 関係条例・規則	
Ⅱ. 施設概要		1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	36
1. 設備概要	30	2. 石川県立歴史博物館管理規則	36
2. 各室面積一覧	30	3. 石川県立歴史博物館使用料条例	37
3. 館内平面図	31	4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則	38
		Ⅴ. 日記(抄)	39

基本構想

- (1) 兼六園文化ゾーンの一つの核に位置づけ、ふるさと石川を中心とした歴史と文化を正しく理解し、その継承と発展に資する学習の場として構成する。
- (2) 日本海沿岸地域における石川の歴史と文化に関連する資料を、重点的体系的に収集保管・調査研究・公開展示し、あわせてこれらについての情報を提供する。
- (3) 普及活動の強化を図り、特に学校教育との連携を強め『学習の場としての博物館』をめざす。
- (4) 生涯学習の場として、広く県民に活用され、参加できる『開かれた博物館』をめざす。

利用案内 (平成 27 年春まで休館中)

開館時間	午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
休館日	年末年始、展示替期間
入館料	一般 250 円 (200 円) 大学生 200 円 (160 円) 65 歳以上 200 円 高校生以下無料
	※ () 内は 20 名以上の団体料金
	※リニューアル後の入館料は未定
	※特別展期間中は入館料変更
交通	徒歩：兼六園から約 3 分 バス：北陸鉄道バス「出羽町」下車 徒歩約 5 分 「広坂」下車 徒歩約 8 分 タクシー：JR 金沢駅から約 15 分 自動車：北陸自動車道「金沢西 IC」から約 30 分 「森本 IC」から約 20 分
駐車場	50 台 (無料) ※リニューアル後の台数は未定
所在地	石川県金沢市出羽町 3-1



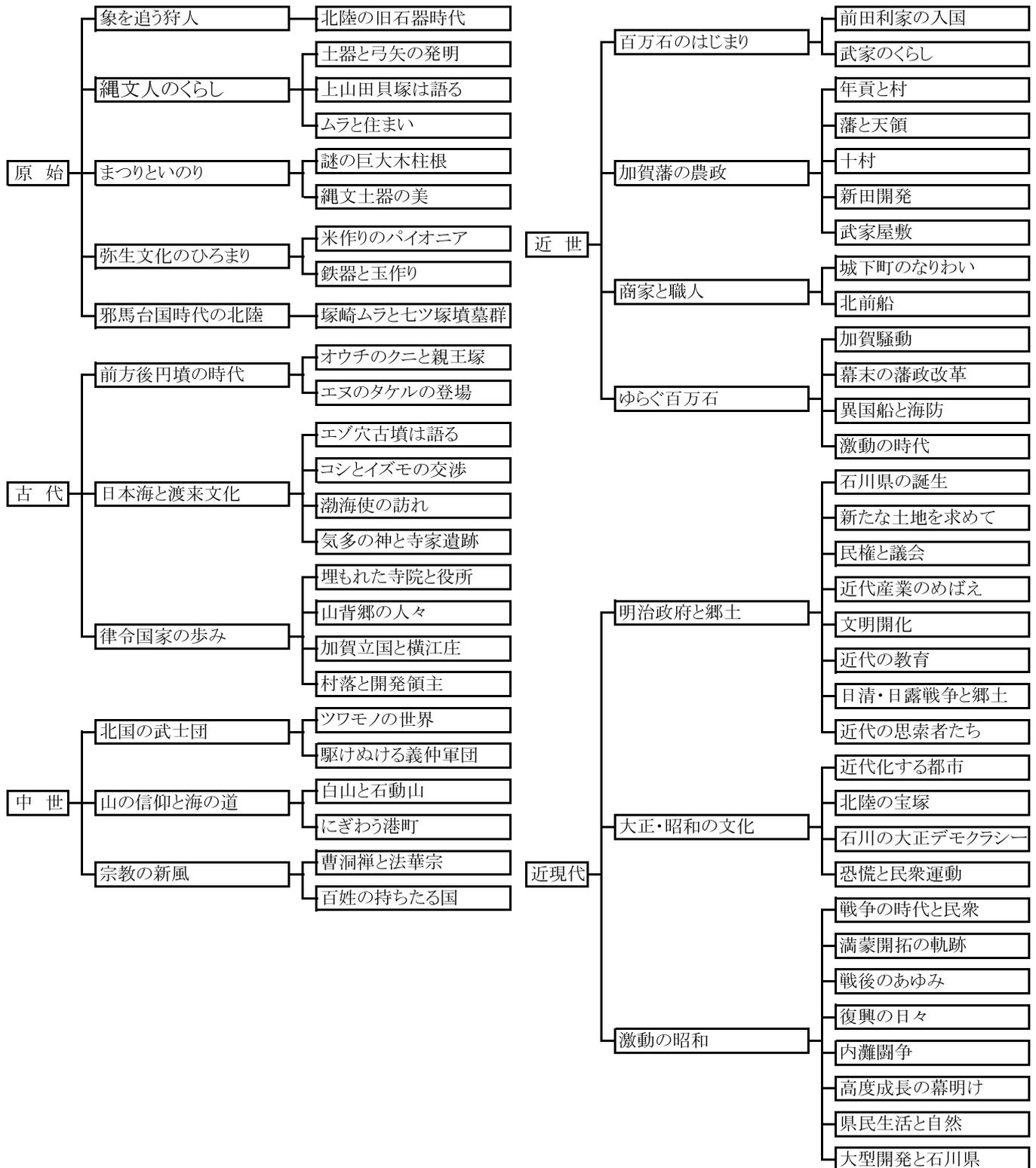
I. 平成 24 年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示：石川の歴史と文化 I・II <第1・2展示室>

常設展示は石川県の歴史を、特に社会経済及び文化史的な面から、中央と地域史を整合させつつ、環日本海文化の視点にたつて、編年体で配列することを基本的な考え方としている。

展示の校正



原始

原始コーナーでは、旧石器時代から弥生時代までの歩みを発掘調査の成果をもとに展示している。旧石器時代の狩人たちが用いた各種の石器や、北陸の厳しい風土に生きた縄文人の暮らしの知恵や祈りについて紹介している。また、弥生時代では米づくりを始めた新しい生活と、北陸地方で発達した玉作りなどの技術に焦点を合わせるとともに、古墳出現前夜のようなすについても触れる。



古代

親王塚古墳や狐山古墳などの大型古墳の出現をたどりながら、国家統一を進めた畿内勢力との関係を探る。また、渡来系のエゾ穴古墳を復元展示するとともに、渤海交渉を取り上げ、古代の郷土が大陸交渉の北の門戸であったことを紹介する。律令時代では寺院跡・官衙跡の出土品や山背郷計帳などを展示し、地方行政と民衆の暮らしを紹介する。さらに、初期荘園の成立から開発領主の誕生までを考古学の成果をもとにたどる。

中世

平安後期に誕生した武士団を源平の争乱を通して考える。また白山と石動山に代表される山岳信仰の世界を寺社資料を中心に紹介し、さらに日本海の海上輸送により賑った大野庄湊の様子を普正寺遺跡の出土遺物で表現している。次に鎌倉新仏教の新風として曹洞禅と日蓮宗を取り上げ、最後に守護大名の支配に抵抗し「百姓の持ちたる国」をつくりあげた加賀の一向一揆について、考古資料をまじえて紹介する。

近世

第1展示室では百万石大名前田氏の成立と武家の暮らしを紹介するほか、武士を支えた農村の姿を年貢や村のしくみ、十村制度などで総合的に展示する。第2展示室では近代への導入として城下町金沢のなりわいを取りあげ、また北前船の資料も展示する。藩体制の崩壊過程は「加賀騒動」「幕末の藩政改革」「異国船と海防」「激動の時代」の4つの区分で表現する。

近現代

石川県の近代百年の歩みを北陸全体の動きと関連づけながら紹介する。明治期では自由民権運動、殖産興業、文明開化、日清・日露戦争など、大正から昭和にかけては金沢郊外粟ヶ崎遊園の賑いを中心に大衆文化の様相を再現し、DVD映像を使って社会の流れを紹介する。昭和に入っては戦争と民衆の生活など激動の時代の姿を展示し、最後に、戦後石川の歩みを写真構成でたどる。また展示の一環として、DVD映像の映写ホール〈キネマシアター〉を設け、県内に残る大正～昭和初期の古いフィルムを100インチの大画面映像で再生する。



(2) 常設展示：石川の歴史と文化Ⅲ <第3展示室>

ここでは、町・海・山・里の人々の暮らしの知恵、心にひそむ願い・祈りにスポットを当て、家屋の移築復元等で臨場感あふれる大型展示を取り入れている。また、里のコーナーでは、大型3面マルチビジョンで加賀・能登の農耕儀礼を紹介している。

- 旧鶴来町の商家復元と祭りの獅子飾り
- 珠洲市の舟小屋復元と海辺の絵馬堂
- 白山麓の民家復元と焼畑収穫祭
- 農耕儀礼ビデオとワラの信仰民具

(加賀能登の農耕儀礼マルチビデオプログラム)

1. あえのこと (8分)
2. スサノオ神話の祭り (9分)
3. 猿鬼とたぶの木 (7分)
4. 実盛の怨霊祭り (9分)



(3) 姉妹館交流コーナー <第1棟2階>

展示期間	展示内容
4月1日～H25年2月28日	韓国国立全州博物館との交流事業の紹介

(4) 歴史スポット展示コーナー <第4展示室>

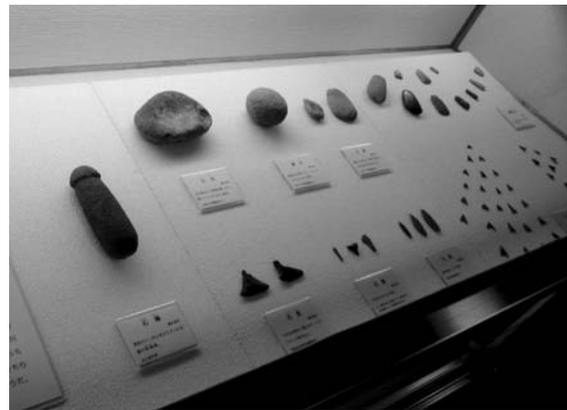
歴史スポット展示コーナーでは、各学芸員が特に注目する資料や話題の資料を小さな企画展示の形で紹介し、1～2か月ごとに展示替えを行っている（第4展示室を特別展会場等に使用する場合は開催しない）。

9月12日以降はリニューアル工事による第3棟（第5～第8展示室）の閉鎖にともない、第4展示室において第5～第8展示室の展示資料の一部を公開した。

展示期間	展示テーマ
3月23日～4月18日	『平家物語』を読んで、みる？
4月21日～6月3日	東日本大震災から1年を振り返る
6月6日～7月11日	小さな石に命の軌跡～堀本松雄 石器コレクションの世界～
7月14日～9月11日	加賀・能登のお弁当箱



姉妹館交流コーナー



歴史スポット展示コーナー

(5) 常設展示：近世・近代の科学と技術 <第5・6展示室>

近代科学・技術の発達の様子を、主としてその導入過程を中心に展示する。その際、技術史部門では「金沢製糸場」の復元をメインに地域の技術の歴史を、また科学史部門では医学・からくり・和算測量など、様々な分野の科学技術の歴史を地域の視座から、それぞれ近世の事例を中心に多様な資料で紹介する。

技術史 石川県においては、その基幹産業である繊維と繊維機械産業の誕生と展開を軸に、産業革命に至る技術の歴史をたどることができる。明治7年に創設された金沢製糸場は、旧藩士長谷川準也らの手により官営の富岡製糸場にならって経営されたもので、士族授産事業の一環として県下の殖産興業の先駆けとなった。同製糸場錦絵にみえる動力源の水車とこれに連動する糸操機は、この段階での技術水準をよく示している。なお製糸場の実際の建設にあたった津田吉之助は尾山神社神門を設計するなど、石川県の文明開化に深くかかわった人物であり、その息子米次郎は絹力織機の発明に尽力し、輸出羽二重を中心とした繊維産業の近代化に大きく貢献した。このほか硬質陶器、自転車リム製造など、全国的にも特徴的な産業技術にみるべきものがある。

- 繊維の技術史
- 殖産興業と水車



科学史 幕末維新期の加賀藩の科学史には、いくつかの注目すべきものがある。医学・薬学では、高い水準の本草学を基礎に、黒川良安などが近代医学を導入、お雇い外国人の協力も得て全国的にも早いスタートを切った。和算、天文、測量では、辰巳用水の先駆的な事例をはじめとして、幕末には遠藤高璟・河野久太郎・石黒信由ら多くの人材を輩出した。

さらに、地理的な要因もあって、加賀藩は早くから海防に力を注ぎ、「梅鉢海軍」とよばれる艦隊を保持するに至る。その際、洋式兵学校壮猶館や七尾語学所、大聖寺藩士らが初めて琵琶湖に就航させた外輪汽船「一番丸」など、これを支えた教育機関や軍事技術の利用の側面にもみるべきものがあった。また、からくりで知られる大野弁吉も、写真技術やエレキテルなどの理化学の分野で注目されている。

- 医学・化学・博物学
- 天文・暦学
- 科学者弁吉
- 和算・測量
- 兵学
- 土木技術

(6) 常設展示：江戸時代の暮らし <第7展示室>

この展示室は資料に基づいて江戸時代の日常生活の一端を表現している。武士・農民・町人それぞれのテーマは異なるが、いずれも人々の暮らしに焦点を当て、模型やアニメーション、映像システムなどを駆使して展示している。

武士 武士のコーナーでは、武士が成長していく上での人生儀礼と家の相続にスポットをあて、史料を数多くとり入れたアニメ番組「小太郎君の武家社会」として紹介している。番組を展開するステージとして、ターンテーブルの上に武家屋敷の模型と広間での袴着の場を造り、「小太郎君」と一緒に体験してもらえるように工夫した。側面には武士の一生に関わる史料（古文書など）を展示している。

農民 江戸時代の農村の人々の生活の一端を垣間見る。有力百姓村松家に残ったメニューより再現した食事からは当時の食生活を、農具からは日々の生業の有様を、また、元十村土屋又三郎の筆による『農業図絵』からは、農作業の詳細な過程や人々の生活の様子を見出すことができる。そして、『民家検労図』に描かれた精密な農作物の図には、土に生きた人々の農作物への強い関心が表れている。



町人 町人のコーナーでは、「城下町を歩く一金沢城下図屏風」と「店のしるし」をメインテーマとしている。

「城下町を歩く」では、石川県指定文化財の「金沢城下図屏風」のコルトンと、屏風に描かれた人々の暮らし、建物の様子等、6本の番組が展観できる。

「店のしるし」には江戸時代から明治時代に至る各種店舗の看板を展示している。当時の店の特徴を表現したものもあり、商人の工夫がよくわかる。

(7) 常設展示：館蔵コレクション <第8展示室>

博物館の大きな役割の一つに資料の収集がある。本館でも昭和42年以来、中世陶器（珠洲古陶）、農業開発（地方文書・農具）、海運（北前船関係資料）、加賀藩の学芸（俳諧資料、工芸関係資料）、教育（教科書）、諸職（職人関係資料）などの収集活動を進めてきた。この展示室ではこうした「館蔵コレクション」の中から、ともしれば埋もれがちな地域に密着した資料を選び、中世から近代までの生活史の一コマを、実物資料を通じて御覧いただけるよう展示している。

- 珠洲古陶
- 金工
- 下駄づくり
- 仏壇
- 北前船
- 音と光の機器



(8) 歴史体験コーナー

このコーナーは、児童生徒が歴史の教材内容を理解するための“体験し学習する博物館”として設けている。各時代を代表するようなテーマを選択し、それに関連した実物資料などに実際に手を触れ、または試すという体験学習を基礎に、パネル教材を補助として歴史学習を行うものである。常設展示の一部であり、いつでも利用できるようになっている。

また、体験コーナーの一角に、子ども向け図書の閲覧コーナー「寺子屋れきはく」を開設している。

原始・古代編 テーマ／原始古代人の知恵と生活

～衣と食～

平成 24 年 4 月 6 日(金)～9 月 2 日(日)

原始・古代では「衣」「食」をテーマとして、縄文時代から平安時代までの衣食に関する体験学習を行い、火おこしや飛鳥時代の衣服の着用など、数多くのメニューを用意した。

また、「考古学への誘い」として、縄文・弥生・古墳など各時代の土器を用途別に分類し、実際に手で触れ各土器の違いを体験してもらった。



原始・古代編

● 「衣」のメニュー

- ・カンガリを編んでみよう
- ・貫頭衣を着てみよう
- ・豪族の衣装
- ・飛鳥時代の衣服を着てみよう

● 「食」のメニュー

- ・土器や石器に触れてみよう
- ・弥生時代の農具に触れてみよう
- ・古代の火おこし
- ・銅鐸を鳴らしてみよう
- ・木の実をわけてみよう

中世編 テーマ／装いと遊び

平成 24 年 9 月 11 日(火)～平成 25 年 2 月 28 日(木)

中世では「装い」と「遊び」をテーマとして、鎌倉時代から戦国時代に至るさまざまな階層の人たちの衣服の着用や遊具の体験学習を行った。また、当時の絵巻物や屏風絵から中世社会の様子を読みとってもらった。

各コーナーには「一遍聖絵」や「鳥獣人物戯画」などそれぞれのメニューに即した拡大写真パネルを設置し、中世の人々の様子を紹介した。



中世編

● 「装い」のメニュー

- ・侍大将の衣裳を着てみよう
- ・白拍子（緋袴）の衣裳
- ・修験者の衣裳（法螺貝を吹いてみよう）

● 「遊び」のメニュー

- ・盤双六（追い回し）
- ・貝合せ
- ・独楽まわし
- ・琵琶を弾いてみよう

● 古文書にふれる

● 体験ワークシート

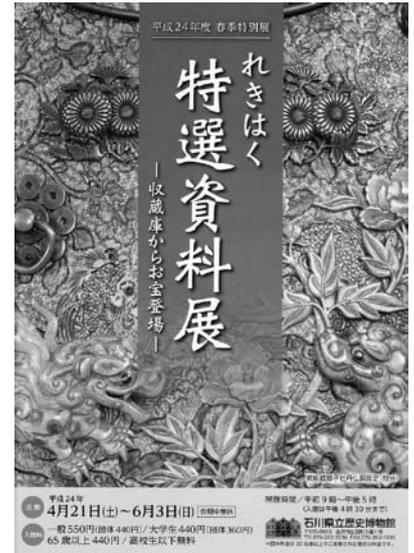
(9) 特別展

春季特別展

れきはく特選資料展 — 収蔵庫からお宝登場 —

リニューアルを間近に控えたこの時期、約 17 万点の収集資料の中から、国指定文化財 3 件、県指定文化財 19 件を中心に紹介した展覧会。

約 150 点に及ぶ展示資料と、建物自体の写真パネル、保存修理報告書を展示室に置き、収蔵資料や赤レンガ建物自体の魅力を体感してもらった。



会 期 平成 24 年 4 月 21 日(土)～6 月 3 日(日)
[44 日間] ※会期中無休

入 館 料 一般 550 円 (440 円) 大学生 440 円 (360 円)
65 歳以上 440 円 高校生以下無料
※ () 内は 20 名以上の団体料金

会 場 第 1 特別展示室

展示構成

1. 鎌倉から室町へ
大般若経・春日懐紙・珠洲秋草文壺～後奈良天皇宸翰女房奉書
2. 戦国から昭和まで
織田信長朱印状・小宮山家文書・小塚内匠助画像～長岡博男眼鏡コレクション
3. 建造物 (写真パネルで紹介)
旧金沢偕行社・旧陸軍第九師団司令部庁舎・旧金沢陸軍兵器支廠

展 示 品 出品資料一覧のとおり (総展示数約 150 点)

催 物

展覧会解説

日 時：いずれも 13 時 30 分～

4 月 21 日(土)	参加者 23 名
5 月 3 日(木・祝)	参加者 33 名
5 月 22 日(火)	参加者 13 名

ギャラリートーク

日 時：いずれも 13 時 30 分～

5 月 6 日(日)	参加者 21 名
5 月 11 日(金)	参加者 14 名
5 月 25 日(金)	参加者 10 名
6 月 2 日(土)	参加者 12 名

収蔵庫ツアー

日 時：いずれも 13 時 30 分～

4 月 30 日(月・振祝)	参加者 19 名
5 月 30 日(水)	参加者 16 名

春季特別展 出品資料一覧

	区分	名 称	全 数	展示数	年 代	所蔵者
1	県文	紙本墨書大般若經	2 帖	2	鎌倉時代初期	本館
2	重文	春日懷紙・紙背春日本万葉集（中臣祐定筆）	17 葉・紙背 6 葉	17	鎌倉時代中期	本館
3	県文	珠洲秋草文壺 珠洲市正院町出土	1 箇	1	鎌倉時代	本館
4	県文	紙本墨書大般若經零本 附断簡	22 帖（附 9 葉）	22	室町時代	本館
5	県文	珠洲鳥樹文小壺 珠洲市宝立町春日野法住寺出土	1 箇	1	室町時代	本館
6	県文	珠洲鳥樹文壺 富山県氷見市阿尾出土	1 箇	1	室町時代	本館
7	県文	黒韋肩紅白糸威腹巻 古制背板付 長家伝来	1 領	1	室町時代	本館
8	県文	畠山義総関係文書	10 通	10	室町時代後期	本館
9	県文	後奈良天皇宸翰女房奉書	1 卷	1	1535(天文 4)年	本館
10	県文	織田信長朱印状	1 点	1	1579(天正 7)年	本館
11	県文	小宮山家文書	111 点	9	1591(天正 19)～ 1660(万治 3)年	本館
12	県文	紙本著色 小塚内匠助画像	1 幅	1	江戸時代前期	本館
13	県文	紫紺威獅子牡丹仏胴具足 雲海光尚作 長家伝来	1 式	5	江戸時代中期	本館
14	県文	後藤家文書	1805 点	15	江戸～明治時代	本館
15	県文	岩佐家文書	571 点	15	江戸～明治時代	本館
16	県文	紙本著色 加州金平鋤山絵巻	1 卷	1	1788(天明 8)年	本館
17	県文	紙本著色 辰巳用水絵巻	1 卷	1	1834(天保 5)年	本館
18		文化 6 年 辰巳用水絵巻	1 卷	1	1809(文化 6)年	本館
19	県文	紙本著色 能登国採魚図絵	1 帖	1	1838(天保 9)年	本館
20	県文	紙本著色 金沢城下図（犀川口町図）六曲屏風	1 双	1	江戸時代末期	本館
21		金沢八景図屏風	1 双	1	江戸時代末期	本館
22		夷曲百人一首	1 冊	1	1840(天保 11)年	本館
23	重民	白峰の出作り生活の用具	1331 点	21	江戸時代中期～ 昭和時代	本館
24	県文	長岡博男眼鏡コレクション 附眼鏡史関係資料	112 点（附 66 点）	20	江戸時代中期～ 昭和時代	本館
25	登録	旧陸軍第 9 師団司令部庁舎	1 棟	写真	1898(明治 31)年	
26	登録	旧陸軍金沢偕行社	1 棟	写真	1898(明治 31)年	
27	重文	旧金沢陸軍兵器支廠（石川県立歴史博物館）第五號兵器庫・第六號兵器庫・第七號兵器庫	3 棟	写真	1909(明治 42)～ 1914(大正 3)年	

重文は重要文化財、重民は重要民俗文化財、登録は登録文化財、県文は県指定文化財

展示風景



展覧会解説



建物紹介ツアー



夏季特別展

マンダラ —チベット・ネパールの仏たち—

インド、チベット、ネパール、ブータン、日本などの神像、仏像、絵画などを展示し、マンダラの世界について理解を深めていただくことを目的に開催した。



会 期 平成 24 年 7 月 14 日(土)～9 月 2 日(日)
[51 日間] ※会期中無休

主 催 石川県立歴史博物館 国立民族学博物館
財団法人千里文化財団

後 援 北國新聞社 NHK金沢放送局 北陸放送 石川テレビ放送 テレビ金沢
北陸朝日放送 金沢ケーブルテレビネット エフエム石川 ラジオ金沢
ラジオ小松 ラジオ七尾

入 館 料 一般 750 円 (600 円) 大学生 600 円 (480 円) 高校生以下無料
65 歳以上 600 円 ※ () 内は 20 名以上の団体料金

会 場 第 1 特別展示室

展示構成 (1) 仏教のパンティオン (2) 仏たちの住む宮殿

展 示 品 出品資料一覧のとおり (総展示数 83 件 187 点)

催物 講演会①

日 時：7 月 14 日 (土) 13:30～15:00
演 題：『般若心経』と色即是空
講 師：立川 武蔵 氏 (国立民族学博物館名誉教授)
会 場：学習ホール
主 催：国立民族学博物館友の会、当館
聴講者：62 名

講演会②

日 時：7 月 28 日(土) 13:30～15:00
演 題：日本の曼荼羅文化
講 師：頼富 本宏 氏 (種智院大学名誉教授)
場 所：学習ホール
参加者：67 名

ギャラリートーク

日 時：8 月 4 日(土) 13:30～14:30
講 師：森 雅秀 氏 (金沢大学教授)
場 所：第 1 特別展示室
参加者：63 名

併設企画展「北陸の曼荼羅 (マンダラ)」

夏季特別展の併設企画展として北陸を視野に、神秘的でもありまた、不思議な魅力をもつ曼荼羅の種々相を紹介し、その多彩な内容の理解を深めることを目的に開催した。



会 場 第 2 特別展示室

展示構成 (1) 山岳曼荼羅 (2) 密教系の曼荼羅

展 示 品 出品資料一覧のとおり (総展示数 14 点)

ギャラリートーク

日 時：8 月 11 日(土) 13:30～14:30
講 師：北 春千代 (当館学芸主幹)
場 所：第 2 特別展示室
参加者：30 名

夏季特別展 出品資料一覧

番号	資料名	年代	員数	所蔵者
1	大日如来像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
2	阿閼如来像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
3	宝生如来像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
4	阿弥陀如来像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
5	不空成就如来像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
6	仏伝図	1960年代	1	国立民族学博物館蔵
7	釈迦牟尼如来図	1950年代	1	国立民族学博物館蔵
8	阿弥陀如来図	1920年代	1	国立民族学博物館蔵
9	持金剛図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
10	金剛バイラヴァ図	1920年代	1	国立民族学博物館蔵
11	チャクラサンヴァラ図	1980年代	1	国立民族学博物館蔵
12	カーラチャクラ図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
13	ヘーヴァジュラ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
14	ヴァジュラ・バイラヴァ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
15	法界語自在文殊図	20世紀	1	個人蔵
16	千手観自在(観音)図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
17	千手観自在(観音)図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
18	十一面観自在図	20世紀	1	個人蔵
19	百八観自在図	20世紀	27	個人蔵
20	百八観自在図	20世紀	27	個人蔵
21	百八観自在図	20世紀	27	個人蔵
22	百八観自在図	20世紀	27	個人蔵
23	金剛薩埵像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
24	金剛薩埵像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
25	菩薩坐像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
26	菩薩坐像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
27	六字観自在像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
28	弥勒菩薩像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
29	文殊像製作用鋳型	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
30	ナーマサンギーティ文殊像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
31	文殊菩薩図の版木	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
32	文殊菩薩像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
33	ヨーギニー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
34	ターラー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
35	般若波羅蜜多女像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
36	ヴァジュラ・ヴァーラーヒー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
37	ヨーギニー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
38	ターラー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
39	ターラー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
40	ターラー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
41	ヴァーラーヒー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
42	女神とガネーシャ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
43	ターラー図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
44	ターラー図	20世紀	1	個人蔵
45	ヴァジュラ・ヴァーラーヒー図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
46	ヨーギニー図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
47	マハーカーラ図	20世紀	1	個人蔵
48	ハヤグリーヴァ(馬頭明王)図	20世紀	1	個人蔵
49	ヴァジュラ・バイラヴァ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
50	マハーカーラ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
51	ラクシュミー木彫板	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
52	クリシュナ木彫板	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
53	バイラヴァの仮面	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
54	シヴァ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
55	水牛の魔神を殺す女神(ドゥルガー)像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
56	キンナラ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
57	ガネーシャ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
58	サラスヴァティー像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
59	ヴィシュヌ像	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
60	パドマサンバヴァ図	20世紀	1	個人蔵
61	ツォンカバ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
62	ツォクシン(集会の樹)図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵

番号	資料名	年代	員数	所蔵者
63	ツォクシン(集会の樹)図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
64	金剛界マンダラ	20世紀	1	個人蔵
65	法界語自在マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
66	五護陀羅尼マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
67	ヴァジュラ・ヴァーラーヒー(金剛亥母)マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
68	ブッダ・マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
69	金剛界マンダラの神々	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
70	法界マンダラの神々	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
71	百八観音図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
72	宝マンダラ	2002年	1	国立民族学博物館蔵
73	法界語自在マンダラ(複製)	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
74	人体チャクラの図	20世紀	1	個人蔵
75	人体チャクラの図	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
76	石製法界語自在マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
78	悪趣清浄マンダラ	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
79	悪趣清浄マンダラの神々	20世紀	1	国立民族学博物館蔵
80	金剛界マンダラ(複製)	20世紀	1	個人蔵
81	胎蔵マンダラ(複製)	20世紀	1	個人蔵
82	金剛界マンダラ	18世紀	1	個人蔵
83	胎蔵マンダラ	18世紀	1	個人蔵

併設企画展 出品資料一覧 △市指定文化財

番号	資料名	年代	員数	所蔵者
1	△ 南天鉄塔図	鎌倉時代 14世紀	1幅	金沢市 平岡野神社
2	両界曼荼羅	室町時代 16世紀	2幅対	羽咋市 正覚院
3	金胎灌頂三昧耶形敷 曼荼羅	江戸時代 19世紀	2枚対	羽咋市 正覚院
4	金胎種子敷曼荼羅	江戸時代 19世紀	2枚対	羽咋市 正覚院
5	光明真言曼荼羅	江戸時代 19世紀	1幅	羽咋市 正覚院
6	請雨経曼荼羅	江戸時代 19世紀	1幅	羽咋市 正覚院
7	両界種子曼荼羅	江戸時代 17世紀	2幅対	羽咋市 正覚院
8	星曼荼羅	室町時代 16世紀	1幅	当館
9	白山曼荼羅	室町時代 永禄2(1559)年	1幅	当館
10	北國白山天嶺御絵図	江戸時代 19世紀	1枚	当館 大鋸コレクション
11	白山禅定日記	江戸時代 嘉永4(1851)年	1冊	当館
12	立山曼荼羅 大仙坊A本	[原本は江戸時代 19世紀 個人蔵]	4幅	富山県 [立山博物館]
13	越中國立山禅定名所 付図 別当岩嶮寺	江戸時代 19世紀	1枚	当館 大鋸コレクション
14	越中國立山之図	明治時代	1枚	当館 大鋸コレクション
参考	白山曼荼羅 写真パネル	[原本は寛政元 (1789)年奉納銘 能美市蔵]	1枚	

展示風景



ギャラリートーク



講演会①



講演会②



併設企画展
展示風景



ギャラリートーク



(10) 企画展

企画展

珠洲古陶の美—珠洲焼コレクション展—

珠洲焼は石川県を代表する中世陶器で、平安時代の終わり頃から室町時代にかけての約350年間にわたって能登半島の先端部で製作された。その製品は加賀・能登だけでなく日本海を通じて東北地方や北海道にも流通し、生活道具や宗教用具として広く使われた。

当館が誇る珠洲焼のコレクションを展示し、能登の中世社会に根ざした独特な陶芸美を紹介した。

会 期：平成24年11月17日(土)～12月16日(日)
[30日間] ※会期中無休

会 場：第1特別展示室

展 示 数：40点

主な展示品：県指定文化財 珠洲秋草文壺
県指定文化財 珠洲鳥樹文壺

展示解説：11月24日(土) 参加者24名
12月8日(土) 参加者16名



企画展 学芸員の眼 とっておきモノがたり

リニューアル改修工事による休館前の最後の企画展。

当館学芸員が所蔵品の中から、それぞれの視点で「とっておき」の資料を3点(3件)選び、資料にまつわる「思い」と共に展示し、名品・優品に限らず、リニューアルに向けて多岐にわたる所蔵資料の価値を見つめた。

また、会場の一角に「思い出の展覧会」コーナーを設け、歴史博物館開館以来の展覧会の中から、特に思い出の深い展覧会ポスターを各学芸員が選び掲示した。

会 期：平成24年1月4日(金)～2月17日(日)
[44日間] ※会期中無休

会 場：第1特別展示室

展示構成：(1)私の「とっておき」
(2)思い出の展覧会

展 示 数：約80点

主な展示品：俳諧炭俵図屏風、六十余州名所図「能登瀧之浦」、菱屋彦次日記、金魚売り道具、本阿弥光悦書状、蕎麦屋「砂場」看板、百万塔、土偶、渤海瓦、桜花に流水図象眼鏡、石川県鳥瞰図



リレー・フロアトーク

関連イベント：リレー・フロアトーク

日 時 1月12日(土) 参加者11名

1月26日(土) 参加者17名

2月9日(土) 参加者23名

いずれも13時00分から約30分

講 師 各コーナー担当学芸員

※学芸員(各回3～4人)がリレー方式で、資料への「思い」を語る企画

(11) 他団体主催の展覧会

◆ 兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク 2012 企画展「発見！地域お宝自慢」

主催 石川県
後援 (社)石川県観光連盟
会期 10月1日(月)～10月21日(日)
会場 特別展示室
内容 考古資料から美術品まで、地域の歴史と文化を物語る幅広い逸品 30余点を一堂に、加賀・能登の多彩な文化を紹介
催物 ギャラリートーク 10月8日(月・祝)10:30～11:30



◆ 「能登仏石と走墨 増永広春展」

主催 下野久雄
後援 北國新聞社
会期 10月27日(土)～11月4日(日)
会場 第1特別展示室
内容 (1)能登仏石 (2)走墨 増永広春

◆ 「ふれてみる いしかわの文化展」

主催 石川県
協力 北陸日彫会 社会福祉法人石川県視覚障害者協会
石川県立盲学校 金沢市立小将町中学校特学分校
会期 11月8日(木)～11月12日(月)
会場 第1特別展示室
内容 (1)ふれてみる彫刻展
(2)県内特別支援学校生徒の作品展示
(3)さわって当てよう！これなあに？
催物 マンドリンミニコンサート
11月12日(月)14:00～14:30



2. 調査研究活動

(1) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組む。公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう地域住民の文化力向上を図る。

第15回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「近世初期の前田家と能登」

平成24年6月24日(日)10:00～15:30 (於:当館学習ホール)

第一部 講演

「豊臣政権の北国支配」

三重大学教授 藤田 達生 氏

「前田氏の領知支配と長氏」

金沢学院大学教授 見瀬 和雄 氏

「能登武士団としての長氏家臣団」

金沢城調査研究所副所長 木越 隆三 氏

第二部 パネルディスカッション

司会 : 見瀬 和雄 氏

パネラー : 講演会講師

参加者 : 67名

第16回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「石動山の信仰と文化」

平成24年9月29日(土)10:00～15:30 (於:当館学習ホール)

第一部 講演

「石動山信仰の成立と展開」

金沢学院大学教授 東四柳 史明 氏

「石動山合戦とその時代」

富山高等専門学校教授 瀬戸 薫 氏

「近世の石動山と遺跡の保存」

加能地域史研究会会員 桜井 憲弘 氏

第二部 パネルディスカッション

司会 : 東四柳 史明 氏

パネラー : 講演会講師

参加者 : 75名

平成24年9月30日(日)現地見学会

見学先 : 氷見市立博物館、道神社、光西寺、
荒山城跡、本土寺

参加者 : 14名



第16回セミナー 現地見学会

第17回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「渤海研究の最前線」

平成24年10月28日(日)10:00～15:30 (於:当館学習ホール)

第一部 講演

『海東の盛国 渤海』の歴史

國學院大學栃木短期大学教授 酒寄 雅志 氏

「渤海考古学の現状」

金沢学院大学教授 小嶋 芳孝 氏

「渤海使の渡日航路をめぐる諸問題」

金沢大学教授 古畑 徹 氏

第二部 パネルディスカッション

司会 : 小嶋 芳孝 氏

パネラー : 講演会講師

参加者 : 38名



第 15 回セミナー 講演



第 17 回セミナー パネルディスカッション

(2) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成 3 年 1 月 15 日に締結した姉妹間協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、並びに、環日本海文化の共同研究を目的として事業を実施した。

平成 24 年度は全州博物館館長と交流員 1 名が来県し、次回の交流展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡等への視察を行った。次回の交流展については、リニューアルオープン後となる平成 27 年秋に、「朝鮮王朝時代の美術と生活文化」をテーマとした特別展を石川県立歴史博物館で開催することとし、谷本正憲石川県知事立ち会いのもと、両館館長が協定書を交わした。

【学芸員の交流】

石川県立歴史博物館 学芸専門員 岩島千津代を全州博物館に派遣
派遣期間：平成 24 年 7 月 16 日(月・祝)～7 月 22 日(日)

韓国国立全州博物館館長 郭東錫 および 学芸研究士 黄智鉉 が来県

受入期間：平成 24 年 10 月 29 日(月)～10 月 31 日(水)

【郭館長】

平成 24 年 10 月 29 日(月)～11 月 4 日(日)

【黄学芸研究士】

※10 月 29 日(月)15 時 30 分～

知事表敬および交流展の開催に関する協定書調印式



知事表敬の様子

3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覽

寄贈資料

分類	資料名稱	点数	年代
1	美術品 刀 銘「越中守藤原高平」	1	江戸前期
2	美術品 黒石地塗打刀拵	1	江戸前期
3	美術品 刀 銘「賀州住藤原家平作」	1	延宝 5(1677)年 8 月
4	美術品 黒石地塗鞘刀拵	1	江戸前期
5	美術品 刀 銘「加州住出羽守高平」	1	江戸前期
6	考古資料 堀本松雄採集考古資料	1,810	縄文時代～古墳時代
7	考古資料 縄文土器 深鉢	1	縄文時代中期
8	考古資料 縄文土器 深鉢	1	縄文時代中期
9	考古資料 石皿	1	縄文時代中期
10	考古資料 骨角製釣針	1	縄文時代
11	考古資料 土偶	1	縄文時代中期
12	考古資料 石棒	1	縄文時代後期
13	考古資料 石棒	1	縄文時代
14	考古資料 石冠	1	縄文時代後期～晩期
15	考古資料 柱状片刃石斧	1	弥生時代
16	考古資料 磨製石鏃	1	弥生時代
17	考古資料 銅鏃	1	弥生時代
18	考古資料 弥生土器 高坏	1	弥生時代終末期
19	考古資料 弥生土器 高坏	1	弥生時代後期
20	考古資料 土師器 壺	1	古墳時代前期
21	考古資料 須恵器 埴	1	古墳時代中期
22	考古資料 須恵器 鉢	1	奈良～平安時代
23	考古資料 瓦塔	1	奈良～平安時代
24	考古資料 宮野遺跡出土資料	一括	縄文時代中期
25	考古資料 小原遺跡出土資料	一括	縄文時代中期～後期
26	考古資料 吉崎・次場遺跡出土資料	9	弥生時代中期～後期
27	考古資料 寺中遺跡出土資料	一括	弥生時代中期・終末期
28	考古資料 畝田遺跡出土資料	一括	弥生時代中期
29	考古資料 月影遺跡出土資料	一括	弥生時代終末期
30	考古資料 大桑橋遺跡出土資料	一括	弥生時代終末期、奈良時代
31	考古資料 越坂城ヶ崎遺跡出土資料	一括	飛鳥～平安時代
32	考古資料 観法寺瓦窯跡出土資料	一括	飛鳥時代
33	考古資料 若緑 3 号窯跡出土資料	一括	奈良時代
34	考古資料 末窯跡群出土資料	一括	奈良～平安時代
35	考古資料 寺社カメワリ坂窯跡群出土資料	一括	平安時代
36	考古資料 郷カマノマエ窯跡群出土資料	一括	鎌倉～室町時代
37	考古資料 鳥屋尾窯跡群出土資料	一括	鎌倉～室町時代
38	考古資料 土偶	1	縄文時代
39	考古資料 弥生土器 甕	1	弥生時代終末期
40	考古資料 弥生土器 器台	1	弥生時代終末期
41	考古資料 赤浦遺跡出土資料	一括	縄文時代中期～後期、古墳時代
42	考古資料 高島遺跡出土資料	一括	古墳時代中期
43	考古資料 岩屋遺跡出土資料	一括	古墳時代中期
44	考古資料 二宮 2 号墳出土資料	一括	飛鳥～奈良時代
45	考古資料 岩版	1	縄文時代
46	歴史資料 内田政風肖像写真	1	明治期

	分類	資料名称	点数	年代
47	歴史資料	初日カバー(切手)	75	昭和 35(1960)年～昭和 44(1969)年
48	歴史資料	古銭資料	124	平安～江戸
49	歴史資料	永井柳太郎自筆絵葉書	1	大正 14(1925)年 10 月 24 日
50	歴史資料	尋常小学校准訓導心得辞令	1	明治 43(1910)年 3 月 16 日
51	歴史資料	金沢医学専門学校卒業記念写真帖	1	大正元(1912)年 1 月 4 日
52	歴史資料	尾山篤二郎短冊他	6	大正～昭和
53	歴史資料	中橋徳五郎記念章	1	大正 2 (1913)年
54	歴史資料	高橋家資料	61	江戸前期～明治
55	歴史資料	駅スタンプ帳	2	昭和戦前
56	歴史資料	絵葉書帳	1	大正～昭和戦前
57	歴史資料	浅井弘五郎所用刀	1	室町中期
58	歴史資料	西村太冲関係文書	82	江戸後期(寛政～天保期)
59	歴史資料	第七連隊従軍兵士関係資料	23	大正～昭和期
60	歴史資料	日露戦争等出兵記念写真	32	明治 30 年代～昭和前期
61	歴史資料	携帯用地図カバー	1	明治 30 年代～昭和前期
62	歴史資料	金沢城二ノ丸絵図巻写	3	明治 37 年 (内容は江戸時代後期)

寄贈資料合計 62 件 2,278 点

購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	小松祭礼図	1	昭和 12(1937)年
2	美術品	武田友月作 能面	2	江戸時代 天保 8(1837)年
3	歴史資料	出府駅名所拔萃記	1	戦国時代末期

購入資料合計 3 件 4 点

寄贈・購入資料合計 65 件 2,282 点

(2) 資料の保存

ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成 18 年度から通常のカス燻蒸を全面中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を 2～3 週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。

【炭酸ガス殺虫】

①作業概要

床面積 4m×4m に高さ 2m の 32 m³ の容量を持つテントに炭酸ガス（CO₂）を充填し、殺虫処理を行う。

②作業の実施

24 年度は延べ 2 回実施。一回当たりの作業時間は 9～15 日、使用炭酸ガス量は 45kg。

【環境調査モニタリング】

①実施場所

第 1～3 棟の収蔵室と展示室、正面受付、各棟出入口

②調査方法

ア．害虫調査：調査区域に補虫トラップを設置し、2～3 週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。

イ. 菌類調査：エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室 5 ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。

ウ. 浮遊粒子調査：各室 1 ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.3、0.5、1.0、5.0 ミクロンの 4 粒子を測定する。

③調査期間

平成 24 年度は年 3 回（延べ 4 回）実施（6 月 21 日、9 月 14 日、3 月 27 日）

今年度 9 月は本館に加えて石引分室で実施。

3 月分はリニューアル工事に伴い仮収蔵庫となった旧七尾工業高校校舎で実施。

④結果報告

翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

【害虫など防除作業】

①各棟進入経路への薬剤散布

ア. 実施場所：各棟 出入口・非常口、渡り廊下出入口

イ. 実施期間：平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月（計 10 回）

ウ. 実施方法：低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。薬剤はジメチルー0（3-メチルー4-ニトロフェニル）、ホスホロチオエイト（低臭性 シントー スミチオン乳剤）

②防塵用ソールマットの設置

ア. 設置場所：特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第 2 収蔵室

イ. 設置方法：各室入口に微粘着性ソールマット（30 シート 1 綴り）を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

③光誘引補虫器の設置

ア. 設置場所：第 1 棟東入口・西入口 第 2 棟東入口 第 3 棟東入口・第 2 収蔵室 2 階

イ. 設置期間：平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月

ウ. 設置方法：前記場所 5 ヶ所に設置し、月に一度補虫器内の粘着シートを取り替える。

(3) 平成24年度 館蔵資料分類表

(H25.3.31)

資料区分		収集年度	平成 23 年度末 資料総数	平成 24 年度 収集資料数	資料総数
美 術	購 入 寄 付		11,418	3 5	11,426
考 古	購 入 寄 付		4,064	0 1,857	5,921
歴 史	購 入 保管 寄 付		69,778	1 0 416	70,195
民 俗	購 入 寄 付		28,251	0 0	28,251
自 然	購 入 寄 付		92	0 0	92
模 型	購 入 寄 付		200	0 0	200
パ ネ ル	購 入 寄 付		187	0 0	187
視 聴 覚 室 の 他	購 入 寄 付		10,132	0 0	10,132
図 書	購 入 寄 付		2,092 50,648	0 1,526	2,092 52,174
合 計			176,862	3,808	180,670

(4) 貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	旧第四高等学校関係資料 合計 115 点	石川四高記念文化交流館での展示	H24.4.1～H29.3.31
中能登町教育委員会	黒氏出土弥生式舟形木器複製 1 点	ふるさと創修館での展示	H24.4.1～H25.3.14
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 コンテナ バット 4 箱	珠洲市立珠洲焼資料館での展示	H24.4.1～H28.3.31
能美市立博物館	人の線刻のある礫 ほか 2 点	能美市立博物館での展示	H24.4.1～H28.3.31
前田土佐守家資料館	前田利長画像（複製） ほか 2 点	特別展「前田土佐守家家祖の母 芳春院まつ の書状」に展示	H24.4.16～H24.7.16
石川四高記念文化交流館	山本コレクション ポスター 10 点	企画展「昭和の映画ポスター展」に展示	H24.5.28～H24.8.1
高志の国文学館	太政官符（複製） 1 点	開館記念展「大伴家持と越中万葉」に展示	H24.6.25～H24.8.9
岡山県立博物館	燈火カバー（戦前・戦中） ほか 4 点	特別展「昭和モノ語り—人々のくらしと岡山—」に展示	H24.7.21～H24.9.26
クリーン・ビーチいしかわ 実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレク ション 2 点	「いしかわ環境フェア 2012」に展示	H24.8.24～H24.8.27
富山市民俗資料館	天神堂 ほか 7 点	企画展「富山の天神はん」に展示	H24.8.27～H25.2.12
クリーン・ビーチいしかわ 実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレク ション 3 点	「HELLO FIVE.jp まつり」エコブース展示	H24.9.14～H24.9.18
前田土佐守家資料館	大月伝蔵見立絵 ほか 3 点	特別企画展「加賀騒動と前田土佐守家」に展 示	H24.9.21～H24.12.24
金沢大学資料館	北辰会雑誌 96 号（マイヨール 版） 1 点	特別展「人物でみる金沢大学の 150 年—その 伝統と創造—」に展示	H24.10.1～H24.11.22
福井県立歴史博物館	白山曼荼羅 1 点	企画展「泰澄ゆかりのかみ・ほとけ」に展示	H24.10.4～H24.12.6
野々市市教育委員会	響升市太郎 錦絵 1 点	野々市市郷土資料館企画展「近世・近代の 野々市の人物」に展示	H24.10.11～H24.10.15
前田土佐守家資料館	大鋸コレクション刷物 ほか 16 点	企画展「新春を祝う」に展示	H24.12.14～H25.1.25
富山市民俗資料館	渡唐天神図（金子鶴村） 1 点	企画展「富山の天神はん」に展示	H24.12.20～H25.2.12
白山市立松任博物館	氷冷蔵庫 ほか 2 点	博学連携展示「かわってきた人々のくらし」 に展示	H25.1.9～H25.2.8
白山市立松任博物館	氷冷蔵庫 ほか 2 点	博学連携展示「かわってきた人々のくらし」 に展示	H25.2.9～H27.3.31
真宗大谷派宗務所 （東本願寺）	顕如画像 1 点	東本願寺創立の上人「教如上人展」に展示	H25.3.25～H25.4.17

合計 20 件 179 点

(5) 写真貸与・特別利用状況

種別	点数	
写真貸与	34件	181点（うち非館蔵品9件 10点）
写真掲載・放映	66件	124点
閲覧	74件	3,042点
撮影	2件	6点

合計 176 件 3,353 点

4. 教育普及活動

(1) 広報

◆新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
 広報いしかわ・商工石川など県発行の広報誌、各種情報誌、歴史・美術系雑誌

◆テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

◆マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入 17 社

◆インターネットによる情報提供

当館ホームページで最新情報を公開

◆広報誌「石川れきはく」の配布（年 4 回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館
 その他公共施設、れきはくメイト会員

◆「れきはくメイト情報」の配布（年 7 回）

れきはくメイト会員向け各種情報案内

◆ポスター、チラシの配布

北陸三県の教育委員会、県内小中学校・図書館・公民館・博物館その他公共施設、宿泊関係施設、県内主要商店街、県内市町観光関係所管課 他

◆テレビCMスポットによる広報

夏季特別展「マンダラーチベット・ネパールの仏たちー」

(2) 出版

名 称	規 格	ページ数	発行部数
春季特別展「れきはく特選資料展」	ポスター チラシ 図録		800 15,000 800
夏季特別展「マンダラーチベット・ネパールの仏たちー」	チラシ	72	15,000
広報誌「石川れきはく」No.103	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.104	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.105	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.106	A4	6	2,100
れきはく催物案内（平成 24 年度）	A4 三つ折		30,000
石川の歴史遺産セミナー講演録第 15 回～17 回「能登」	A4	145	500



(3) 解説案内及びレファレンスサービス

展示室の解説案内等は、主として解説員が担当し、特に希望のある場合には各部門担当学芸職員が対応する。解説員は学校や一般団体への案内解説、体験学習の指導のほか、希望により個人への解説も行う。また常設展示室の各展示コーナーと展示資料約 100 点については、日本語・英語の音声ガイドを無料で貸し出ししているほか、英語・中国語の解説シートも配置している。

各種問い合わせなどに対応するレファレンス業務は、各部門担当学芸職員が行う。

(4) 講座

◆れきはくゼミナール

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第3土曜日 14:00~15:30
3. 受講料 無料
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月19日	金沢武士のおもしろ絵日記	塩崎 久代	23名
2	6月16日	白山登拝のはじまり	戸潤 幹夫	32名
3	7月21日	「涅槃図」考	北 春千代	41名
4	8月18日	「軍都」金沢と遊廓	本康 宏史	64名
5	9月15日	埴輪群像を読みとく	三浦 俊明	34名
6	10月20日	東日本大震災と、その教訓	本谷 文雄	7名
7	11月17日	デザインをまとうー染織の意匠	大井 理恵	15名
8	12月15日	マネキン以前 ーショーウィンドウの文化史	大門 哲	15名
9	1月19日	加賀藩と米	濱岡 伸也	41名
10	2月16日	加賀国府を考える	岩島千津代	25名



れきはくゼミナール

◆常設展示ワンポイント解説

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第1金曜日 14:00~14:30
3. 受講料 無料 (入館料要)
4. 会場 当館常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	時代・分野	テーマ	担当者	参加者
1	5月4日	近現代	モダン金沢	本康 宏史	15名
2	6月1日	近世	加賀藩の大名行列	塩崎 久代	17名
3	7月6日	民俗	白山麓の収穫儀礼 「ナギカエシ」	大井 理恵	12名
4	8月3日	原始	古墳に葬られた豪族たち	三浦 俊明	19名
5	9月7日	近現代	日本硬質陶器について	本谷 文雄	15名
6	10月5日	中世	畠山義経画像について	北 春千代	10名
7	11月2日	民俗	海辺の絵馬堂	前田 武輝	10名
8	12月7日	近世	幕末の加賀藩	濱岡 伸也	13名
9	1月11日	古代	律令制下の農民負担	岩島千津代	17名
10	2月1日	原始	真脇人のイルカ漁	戸潤 幹夫	11名



常設展示ワンポイント解説

◆石川県民大学校「歴史講座」

石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を
深める専門講座

1. 対象・定員 どなたでも
定員 50名
2. 開催期間 11月~1月の間に10回開催
水曜日 13:30~15:30
3. 参加費 3,000円 (テキスト代を含む)
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 右表のとおり

受講者 34名

	開催日	テーマ	担当者
1	11月14日	石川の原始	三浦 俊明
2	11月21日	石川の古代	岩島千津代
3	11月28日	石川の中世	塩崎 久代
4	12月5日	加賀藩政	濱岡 伸也
5	12月12日	中近世の絵画	北 春千代
6	12月19日	石川の文化財 ー中世・近世を中心にー	本谷 文雄
7	1月9日	近現代の石川	本康 宏史
8	1月16日	石川のことば	前田 武輝
9	1月23日	石川の民俗文化財	大井 理恵
10	1月30日	石川のまつり	大門 哲

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に館蔵の体験用資料等を貸し出すことで、学習に役立て歴史をより身近に感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
石川県立金沢北陵高等学校	7月24日～31日	体験用甲冑(一式)、甲冑掛(1)

◆職場体験受け入れ事業

わく・ワーク体験

学校名	期間	参加数
金沢市立兼六中学校	6月27日～29日(3日間)	6名
金沢市立額中学校	7月3日～5日(3日間)	6名
金沢市立紫錦台中学校	7月24日～26日(3日間)	4名
金沢大学附属中学校	10月16日～18日(3日間)	4名
石川県立金沢錦丘中学校	11月7日～9日(3日間)	6名



インターンシップ等

学校名	期間	参加数
奈良女子大学	8月30日～31日(2日間)	1名
長野県短期大学	8月30日～31日(2日間)	1名

◆教育センターとの連携事業

平成24年度教職員初任者研修の課程の一つとして、当館で講座を実施

講座名 「ふるさと教育Aー石川の歴史・自然ー」

講師 当館学芸員

目的 石川の歴史と自然についての理解を深めることを通して、ふるさとについての幅広い知見の育成をはかる

期日 平成24年9月27日(木) 13:30～16:00

内容 講義「歴史博物館の見どころと見学指導の在り方」 館内見学

参加数 19名

(6) 博物館実習

受け入れ実習生(合計8名)

筑波大学 芸術専門学群美術専攻	1名
立命館大学 文学部人文学科	1名
京都女子大学 文学部国文学科	1名
金沢学院大学 美術文化学部文化財学科	1名
京都造形芸術大学 芸術学部文化財学科	1名
金沢大学 人間社会学域人文学類	3名



月日	時間	実習内容
7月30日 (月)	9:00～9:20	開講式
	9:20～9:50	オリエンテーション
	10:00～12:00	施設案内
	13:00～13:50	学芸課の業務について
	14:00～14:50	普及課の業務について
	15:00～15:50	資料課の業務について
	16:00～16:40	学芸員の総務業務
7月31日 (火)	16:40～17:00	今日の確認
	9:00～9:50	博物館法とその周辺
	10:00～10:50	資料の保存・管理とIPM
	11:00～12:00	フリートーク「博物館のイメージ」
	13:00～14:00	資料の取扱い実習(主に考古)
	14:20～15:20	資料の取扱い実習(主に民俗)
	15:40～16:40	資料の取扱い実習(主に歴史)
16:40～17:00	今日の確認	
8月1日 (水)	9:00～10:50	写真撮影実習
	11:00～12:00	写真資料の利活用と問題点
	13:00～14:50	資料整理と梱包実習(民俗資料)
	15:10～16:40	資料整理と梱包実習(歴史資料)
	16:40～17:00	今日の確認
8月2日 (木)	9:00～12:00	収蔵庫の整理実務(特別収蔵庫)
	13:00～14:50	資料調査と整理実習
	15:00～16:40	資料情報の作成と整理保存
	16:40～17:00	今日の確認
8月3日 (金)	9:00～9:50	展示室の管理と運営
	10:00～12:00	展示実習1(清掃と調査)
	13:00～16:40	展示実習2(企画展示)
	16:40～17:00	今日の確認
8月4日 (土)	9:00～10:00	歴史体験コーナー
	10:10～11:00	来館者目線で館内視察
	11:10～12:00	博物館とリニューアル
	13:00～15:00	フリートーク「博物館実習」
	15:20～15:45	閉講式

(7) れきはくメイトの運営

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	割合(%)
	男	女		
～10代	0	0	0	0
20代	0	0	0	0
30代	5	2	7	2.4
40代	6	2	8	2.7
50代	15	6	21	7.2
60代	47	42	89	30.5
70代	76	43	119	40.8
80代	34	14	48	16.4
90代～	0	0	0	0
不明	0	0	0	0
合計	183人	109人	292人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)				(県外)	
金沢市	218	七尾市	2	富山県	7
加賀市	3	能登町	2	福島県	1
小松市	10	輪島市	1	滋賀県	1
白山市	17	珠洲市	3	大阪府	1
能美市	3				
野々市市	3				
内灘町	7				
津幡町	4				
かほく市	3				
宝達志水町	1	小計(県内)	282	小計(県外)	10
羽咋市	2			総計	292

れきはくメイト情報の発行

号数	(発行日)	主な内容
153号	(4月18日)	春季特別展、春の歴史散歩
154号	(5月30日)	初夏のバスツアー
155号	(7月10日)	夏季特別展
156号	(9月13日)	秋の歴史散歩
157号	(10月10日)	秋のバスツアー
158号	(11月14日)	企画展「珠洲古陶の美」
159号	(12月20日)	企画展「学芸員の眼」
160号	(3月22日)	リニューアルにあたって



バスツアー・歴史散歩

<p>初夏のバスツアー 6月26日</p>	<p>「上越紀行ー北国街道の史跡をたずねてー」 参加料：8,000円(入館料、拝観料、交通傷害保険料、昼食費を含む) 参加数：38名 行程：浄興寺ー林泉寺ー(昼食「うみてらす名立」)ー能生白山神社ー糸魚川歴史民俗資料館ー加賀の井酒造(旧糸魚川本陣)ー糸魚川観光物産センター</p>
<p>秋のバスツアー 11月5日</p>	<p>「深秋の美濃白鳥ー白山信仰の里を訪ねてー」 参加料：8,300円(入館料、拝観料、交通傷害保険料、昼食費を含む) 参加数：40名 行程：白山中居神社ー大師堂ー(昼食「レストラン長滝」)ー長滝白山神社、長瀧寺、瀧宝殿、若宮修古館ー白山文化博物館</p>
<p>春の歴史散歩 5月14日</p>	<p>「新緑の卯辰山寺院群」 参加料：300円 参加数：26名 行程：玄門寺ー来教寺ー西養寺ー蓮昌寺ー慈雲寺</p>
<p>秋の歴史散歩 10月10日</p>	<p>「小立野ー前田家ゆかりの寺を訪ねてー」 参加料：500円 参加数：23名 行程：下馬地藏尊ー天徳院ー如来寺ー経王寺</p>



春の歴史散歩 [慈雲寺]

(8)れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成 18 年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、体験学習コーナー内で、主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行う。

平成 24 年度 ボランティア活動

春季

〔歴史体験コーナー：原始・古代編〕

活動期間：4月23日～6月8日の平日（30日間）

事前研修：4月17日、18日（いずれか1日）

参加人数：16人

秋季

〔歴史体験コーナー：中世編〕

活動期間：9月24日～11月9日の平日（34日間）

事前研修：9月19日

参加人数：14人



れきはくボランティア

(9)入館者調査

開館中にアンケート用紙に記入する方法で、一般個人有料入館者を対象に「来館者調査」を実施した。アンケートでは、展覧会および博物館全体の評価と来館者の情報を記入してもらった。評価は「☆☆☆」（良かった）、「☆☆」（ふつう）、「☆」（良くなかった）の3段階（春季特別展は県の観光アンケートのため4段階評価）と自由記述で行った。

特別展・企画展の開催期間中は「特別展または企画展の評価」と「常設展の評価」、常設展のみの期間は「常設展の評価」と「博物館全体の評価」を回答してもらった。来館者の情報としては、性別、年齢、居住地、来館回数、来館手段、情報入手の手段を回答してもらった。下記はアンケート集計結果をまとめた一部である。

特別展・企画展の評価

	満足	ちょっと満足	ちょっと不満	不満	未記入	回答数
春季特別展(4.21～6.3)	188(45.5%)	151(36.6%)	39(9.4%)	7(1.7%)	28(6.8%)	413(100%)
	良かった	ふつう	良くなかった	---	未記入	回答数
夏季特別展(7.14～9.2)	367(56.9%)	186(28.8%)	31(4.8%)	---	61(9.5%)	645(100%)
企画展(H25.1.4～2.5)	78(56.9%)	38(27.7%)	4(2.9%)	---	17(12.4%)	137(100%)

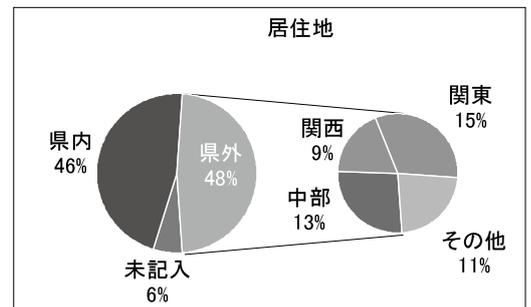
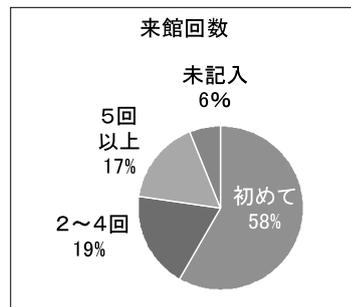
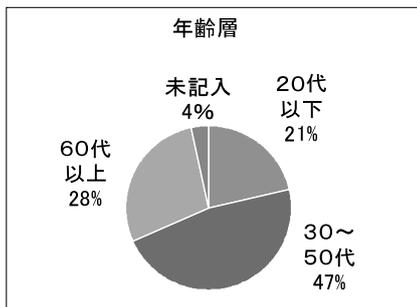
常設展の評価

	満足	ちょっと満足	ちょっと不満	不満	未記入	回答数
春季特別展期間	216(52.3%)	138(33.4%)	29(7.0%)	3(0.7%)	27(6.5%)	413(100%)
	良かった	ふつう	良くなかった	---	未記入	回答数
春季特別展を除いた期間	703(50.1%)	516(36.8%)	42(3.0%)	---	142(10.1%)	1403(100%)

博物館全体の評価

	良かった	ふつう	良くなかった	---	未記入	回答数
常設展のみの期間	384(61.8%)	202(32.5%)	7(1.1%)	---	28(4.5%)	621(100%)

アンケート回答者について



5. 入館状況

(1) 入館者数

	開催期間	日数	個人			団体			その他	有料計	無料計	貸展利用者	入館者計
			一般	大学生	計	一般	大学生	計					
常設展	4月	28	991	40	1,031	585	0	585	1,616	2,733		4,349	
	5月	31	1,136	68	1,204	690	5	695	1,899	4,493		6,392	
	6月	28	637	35	672	331	1	332	1,004	2,175		3,179	
	7月	29	890	61	951	363	1	364	1,315	1,302		2,617	
	8月	31	2,747	218	2,965	854	34	888	3,853	2,043		5,896	
	9月	28	1,171	114	1,285	571	39	610	1,895	2,996		4,891	
	10月	31	763	35	798	599	0	599	1,397	7,438	7,255	16,090	
	11月	30	873	51	924	619	2	621	1,545	3,143	1,786	6,474	
	12月	26	427	21	448	303	1	304	752	826		1,578	
	1月	28	541	46	587	381	1	382	969	569		1,538	
	2月	28	767	57	824	396	9	405	1,229	794		2,023	
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	計	318	10,943	746	11,689	5,692	93	5,785	17,474	28,512	9,041	55,027	
特別展	春季 れきはく特選資料展 H24.4.21～6.3(51日)		1,735	113	1,848	915	5	920	2,768	6,530		9,298	
	夏季 マンダラ展 H24.7.14～9.2(44日)		3,833	313	4,146	1,220	35	1,255	5,401	2,662		8,063	
	計 95日間		5,568	426	5,994	2,135	40	2,175	8,169	9,192		17,361	
合計	413日間		16,511	1,172	17,683	7,827	133	7,960	25,643	37,704	9,041	72,388	

※夏季特別展は貸館であるが、常設展の集計には含んでいない。

(2) 曜日別入館者数（常設展・特別展）

曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
入館者数	9,554	6,324	11,523	11,510	10,707	13,845	8,925	72,388
開館日数	47	45	45	47	44	44	46	318
平均	203	141	256	245	243	315	194	228.1
全団体入館件数	6	15	74	81	92	106	11	385

(3) 小・中・高生地区別入館者数

地区	小学校		中学校		高等学校		計		入館者の割合
	校	人	校	人	校	人	校	人	
加賀地区 (石川以南)	63	3,686	7	102	0	28	70	3,816	21.2
金沢地区	43	2,742	27	1,282	9	674	79	4,698	26.1
能登地区 (河北以北)	33	1,683	11	179	1	57	45	1,919	10.6
富山県	53	3,745	51	2,291	2	21	106	6,057	33.6
福井県	1	74	21	451	1	56	23	581	3.2
その他	4	497	7	325	0	136	11	958	5.3
合計	197	12,427	124	4,630	13	972	334	18,029	100.0

6. リニューアルの概要

なぜ、リニューアルなのか

当館は、明治 42 年、大正 2 年、大正 3 年に旧陸軍兵器庫として建てられた三つの棟からなる。昭和 61 年 10 月に第 1 棟と第 2 棟が石川県立歴史博物館として開館し、平成 2 年 9 月に国の重要文化財指定を受けた後、同年 10 月に第 3 棟も完成し、すべての棟が公開された。しかし、昭和 61 年の開館から約 30 年が経過し、入館者の減少・展示の固定化・空調設備等の老朽化・バリアフリー対策の不備等の理由から、リニューアルすることになった。

基本的な考え方とポイント

リニューアル後は、より多くの県民の方々や観光客に訪れていただけるよう、親しみやすく利用しやすい施設とし、展示スペースを第 1 棟に集約し、展示内容も一新し、体感型で分かりやすくメリハリのある展示とする。また、特別展の開催スペースを増やし、大規模な巡回展等にも対応可能とする。加えて、誰でも気軽に立ち寄れるように出入口を増やし、第 2 棟に無料のフリーゾーンを設け、ギャラリーや石川の歴史と文化の魅力を紹介するコーナー等を設置する。また、第 1 棟と第 2 棟の間には入館者がくつろげる「ほっとサロン」を増設し、来館者用エレベーターや多目的トイレ等も設置してバリアフリー対策を講じ、重要文化財の保存を図りながら、その魅力を活かした博物館とする。

第 3 棟は、美術館側の約半分を藩老本多蔵品館が使用し、NTT 側の約半分はこれまでどおり博物館の収蔵スペースとする。

年度ごとのタイムスケジュール

平成 21 年度から準備を開始し、4 月に職員に評価シートを配布してアイデアをまとめ、7 月から学芸課・資料課・普及課の各課がワーキング会議を開始し、9 月に中間報告を行った。同時に参考となる県外の博物館等の視察や、県民文化局との意見交換も行いながら内部検討を進めた。

平成 22 年度は、外部有識者によるリニューアル検討委員会を設置して、4 回の会議を重ね、基本構想を策定し、平成 23 年度は、基本設計、平成 24 年度は、実施設計を行い、平成 25 年 9 月から工事に着工した。平成 26 年度にすべての改修工事を竣工し、資料移転も含めてすべての作業を終えて、平成 27 年春の開館に備える予定である。

外部収蔵庫確保と資料移転

当館の前身にあたる石川県立郷土資料館の開館から約半世紀が経過し、所蔵する資料は約 17 万点を超えたために、内部収蔵庫と外部収蔵庫も満杯となり、リニューアルを機に新たな外部収蔵庫を求めることになった。平成 24 年 9 月に旧七尾工業高校の校舎を視察し、その結果、同校舎の一部が臨時収蔵庫として使用できることとなった。

改修工事にあたっては、工事の妨げとなることから、一部を除いて資料の大半を同校舎に移転することになり、平成 25 年 3 月の閉館を機に、資料の点検作業を加速させ、すべての資料を梱包し、工事が始まる 9 月直前に移転作業を完了した。



閉館中の博物館活動

当館は、平成 25 年 3 月 1 日より閉館したが、休館中であっても博物館の平常業務はこれまでどおり行い、歴史遺産セミナー・ゼミナール・県民大学等の各種講座も石川県立美術館の一室を借りて開催した。

同時に金沢・加賀・能登地区の各博物館・美術館をお借りして移動展を開催し、当館の所蔵品を公開した。併せてリニューアルに向けての PR 活動を行った。

展示部門の流れ

展示部門は、リニューアル成否の鍵を握る重要な部門である。基本設計にあたっては、プロポーザル審査により委託業者を決定することとし、平成 23 年 5 月に現地説明会、7 月にプロポーザル審査会を開催した結果、株式会社丹青社に決定し、8 月から同社と会議を重ねて基本設計を策定した。平成 24 年度は、展示等工事の実施設計を丹青社が策定し、平成 25 年度は、4 月に入札を行い、丹青社が展示等工事を担当することになり、細部の調整を詰めながら、オープンに備えた。

なお、平成 25 年 6 月に CG 映像を作成し、リニューアルオープン後を視野に入れた PR 活動を行った。

整備工事の監修・設計監理・施行

平成 25 年 9 月から、実施設計を踏まえて、第 1 棟・第 2 棟・第 3 棟ともに、展示・建築・電気・給排水衛生・空調の全面改修工事を開始し、既存の渡り廊下の全面改修、「ほっとサロン」の増築、併行して外壁破損箇所などの修理と外構の付帯設備改修や当館周囲の公園整備工事を開始した。

「歴史博物館リニューアル整備工事」は、石川県土木部営繕課が監修を行い、設計監理については、建築を株式会社長村建築事務所、設備を株式会社山岸設備設計が担当し、施行にあたっては、それぞれの棟ごとに建築は岡・和泉 JV、長坂・ムラジ JV、電気は北陸電設株式会社、米沢電気工事株式会社、株式会社大地電業所、給排水衛生は松村物産株式会社、北陸東和冷暖房株式会社、株式会社福森設備、空調は鈴木・テクノブレイン JV、アムズ・北菱設備 JV、みなみ設備工業株式会社が担当することとなった。

「重要文化財旧金澤陸軍兵器支廠 第五號兵器庫ほか 2 棟保存修理工事（外壁及び門柱保存修理工事）」は、石川県土木部営繕課が監修し、公益財団法人文化財建造物保存技術協会が設計監理、鈴木建設株式会社が施行を担当した。

「本多の森公園整備工事(園地工)」は、石川県土木部公園緑地課が監修し、株式会社東洋設計が設計監理、北造園株式会社と有限会社野々与造園が施行を担当した。

なお、整備工事施行にあたっては、複数の業者が担当することとなるため、毎週 1 度、関係者全員による定例工事打合せ会議を開催し、調整を図った。



第 2 回 定例工事打合わせ会議
(2013年9月19日)

II. 施設概要

1. 設備概要

(1) 電気設備

- 受変電設備 受電電圧 6.6KV 変圧器容量 500KVA
- 発電機設備 ディーゼル機関 300PS 1800rpm
発電機 250KVA 3 相交流
- 蓄電池設備 ベント形高率放電用ペースト式据
置形鉛蓄電池 H-200AH 54 セル
- 動力設備 空調用動力 207KW 衛生用動力 13KW
エレベーター動力 60KW
非常用動力 79KW
- 電灯設備 照明器具 1,137 台
展示室内照度最高 340Lx
展示ケース内照度最高 500Lx
- 照明設備 無紫外線管球 (展示室)
- 電子交換機設備 電子交換機 72 回線 内線電話機 36 台
- 放送設備 防災アンプ 360W
- 電気時計設備 水晶発振式親時計 1 回線 子時計 11 個
- 監視テレビ ITV モニター収納架
(モニターテレビ 9in 型白黒 6 台組込)
角度伝動型カメラ 6 台
角度固定型カメラ 6 台
- テレビ・ラジオ共聴視設備
アンテナ VHF-8EL UHF-20EL
FM-5EL AM ホイップ
テレビ・ラジオ受口 14 個
- 防災設備 複合盤自火報 P 型 1 級 50 回線
消火 40 回線、防排煙 90 回線
第 1・2・3 棟避雷設備

(2) 機械設備

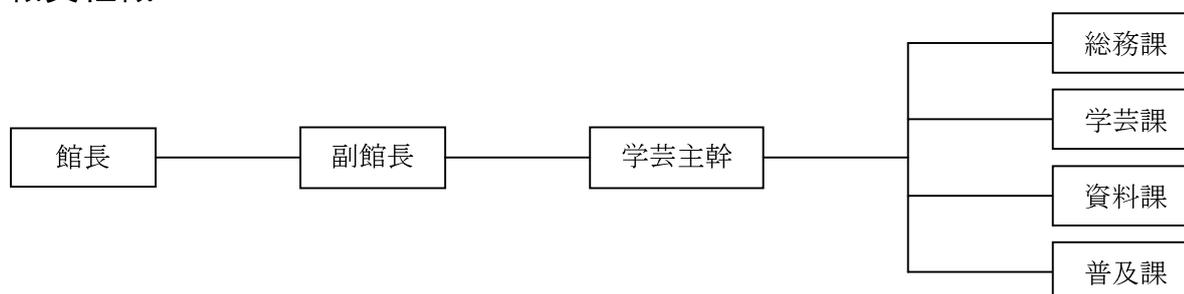
- 空調設備 保存空調温度条件 (SP 可変)
A ランク収蔵 20~24±1.5°C RH60±5%
空調展示ケース 20~24±1.5°C RH60±5%
空調方式
変風量単一ダクト方式 第 1・3 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式
特別展示室、第 5・6 展示室…2 系統
ファンコイルユニット・外気処理併用方式
第 2 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式 (保存空調系統) …2 系統
熱源
一般系統、吸収冷温水
発生機 100USRT (A 重油) 75USRT (灯油)
保存系統
熱回収型チーリングユニット 30USRT
補助用真空式温水ヒータ 7,500Kcal/h (A 重油)
冷水槽 56 m³、温水槽 84 m³
- 給水設備 市水直結方式 (便所 FV 系統は圧力タンク方式)
- 給湯設備 ガス、電気による局所方式
- 排水設備 建物内分流方式、公共下水道放流
- 消火設備 屋内消火栓 12 ヶ所
ハロゲン化物消火設備 収蔵庫、資料室 3 系統
スプリンクラー
- 排煙設備 機械排煙、第 1・2・3 棟 3 系統
- 融雪設備 井水散水方式
- 昇降機設備 油圧式 荷物 (2.1t) 身障者併用 第 1・2 棟 2 基
身障者用斜行リフト 第 3 棟 1 基

2. 各室面積一覧

部 門	室 名	面 積 (m ²)	部 門	室 名	面 積 (m ²)
展 示	第 1 特別展示室	361.34	教 育 及	学 習 ホール	146.80
	第 2 特別展示室	110.40		閱 覧 室	19.40
	第 1 展 示 室	391.84		計	166.20
	第 2 展 示 室	454.15	調 査 究	研 究 室	115.47
	第 3 展 示 室	388.61		情 報 資 料 室	49.02
	第 4 展 示 室	271.25		文 献 図 書 室	54.45
	第 5 展 示 室	266.57		計	218.94
	第 6 展 示 室	168.38	収 保 蔵 存	古 文 書 室	56.23
	第 7 展 示 室	276.75		特 別 収 蔵 室	160.38
	第 8 展 示 室	301.32		第 1 収 蔵 室	356.89
	歴 史 体 験 コーナー	315.87		第 2 収 蔵 室	639.66
	ス ポ ッ ト ルーム	21.21	計	1,213.16	
	キネマシヤター	36.77	そ の 他	機 械 室	667.95
展 示 準 備 室	13.14	そ の 他		1,467.01	
計	3,377.60	計		2,134.96	
管 理 サ ー ビ ス	休 憩 室	49.35	小 計	7,721.87	
	ロ ッ カ ー 室	19.42	渡 り 廊 下	208.46	
	解 説 員 控 室	13.14			
	ホ ー ル	264.63	合 計	7,930.33	
	事 務 室	166.65			
	副 館 長 室	28.50			
	館 長 室	51.87			
	警 備 室	17.45	敷 地 面 積	28,727.44	
計	611.01				

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成 24 年度（平成 25 年 1 月 1 日現在）

館長（非常勤嘱託） 脇田 晴子
 副館長（〃） 新宅 剛
 学芸主幹（再）（技術） 北 春千代
 学芸主幹（技術） 本谷 文雄
 学芸主幹（〃） 戸潤 幹夫

学芸課
 課長（技術）（併） 本康 宏史
（本務 教育委員会）
 学芸専門員（〃）（併） 大門 哲
（本務 教育委員会 兼 白山ろく民俗資料館）
 学芸主任（〃） 三浦 俊明
 非常勤嘱託 中村 聡子

普及課
 課長（技術） 前田 武輝
 学芸専門員（〃） 岩島千津代
 学芸主任（〃） 大井 理恵
 非常勤嘱託 藻寄亜矢子

総務課
 課長（事務） 小原 卓
 主幹（〃） 森 孝弘
 企画管理専門員 谷口 秀子
 業務主任（県立美術館） 北 晃
 非常勤嘱託 谷内 優子

資料課
 課長（技術） 濱岡 伸也
 学芸員（〃） 塩崎 久代
 非常勤嘱託 前多 令子

3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成 24 年度		
	当初予算	最終予算	決算額
運営費	61,019	61,580	61,531
案内解説事業費	15,719	13,612	13,612
展示費	5,982	6,487	6,408
調査普及費	17,552	13,196	12,906
整備費	1,600	1,540	1,540
国際交流費	141	138	136
石引分室管理事業費	880	880	828
米泉収蔵庫管理事業費	704	444	444
リニューアル整備費	69,800	53,343	53,336
計	173,397	151,220	150,741

4. 事務分掌

平成 24 年度（平成 25 年 1 月 1 日現在）

事務分掌

総 務 課	学 芸 課
<ol style="list-style-type: none"> 1 課内事務の統括に関する事 2 出納事務に関する事 3 諸規定の運営に関する事 4 防犯及び防災計画に関する事 5 運営審議会の連絡調整に関する事 6 他の課に属しない事務に関する事 7 予算・決算に関する事 8 委託等契約事務に関する事 9 財産の維持及び管理に関する事 10 情報政策推進員業務に関する事 11 物品及び収入・支出経理に関する事 12 文書管理事務に関する事 13 公用車の運転及び整備に関する事 14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事 15 職員のサービス及び給与、旅費等に関する事 16 リニューアルに関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学芸活動の企画・調整に関する事 2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事 3 常設展の調整・改善に関する事 4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事 5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事 6 石川の歴史遺産セミナーに関する事 7 紀要の作成に関する事 8 貸館の企画・調整に関する事 9 寄贈図書等の受入・整理に関する事 10 文化財情報の収集・整理に関する事 11 その他学芸補助に関する事 12 リニューアルに関する事
資 料 課	普 及 課
<ol style="list-style-type: none"> 1 資料の調査・受入に関する事 2 資料の保存・修理に関する事 3 資料の複製・模型に関する事 4 資料の貸与及び特別利用に関する事 5 借用資料のとりまとめに関する事 6 収蔵品の保全・管理に関する事 7 コレクション展に関する事 8 運営審議会・資料評価部会に関する事 9 博物館実習に関する事 10 リニューアルに関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 普及事業の企画・調整に関する事 2 学校教育との連携に関する事 3 社会教育機関との連携に関する事 4 県民大学校に関する事 5 ホームページに関する事 6 広報活動の企画・実施に関する事 7 れきはくメイトに関する事 8 入館者の動向調査に関する事 9 ボランティアに関する事 10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事 11 石川れきはく編集・発行に関する事 12 各種印刷物の発送に関する事 13 リニューアルに関する事

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成24年11月15日(木)

会場 本館学習ホール

- 議事 (1) 平成24年度事業の執行状況について
(2) 平成25年度事業計画について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

<第2回> 平成25年3月14日(木)

会場 本館学習ホール

- 議事 (1) 平成24年度事業の執行状況について
(2) 平成25年度事業計画及び予算について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

委員名簿(13名)

(平成25年3月1日現在)

氏名	役職	委員の構成	備考
北西 弘	元大谷大学学長	学識経験者	資料評価専門部会員
高澤 裕一	金沢大学名誉教授	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
橋本 澄夫	石川考古学研究会名誉会長	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	元金沢美術工芸大学美術工芸学部教授	〃	
野口 弘	金沢市教育長	〃	
高屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
笠井 純一	金沢大学人文学類兼文学部教授	〃	
橋 禮吉	加能民俗の会名誉会長	〃	資料評価専門部会員
藤多 典子	石川県婦人団体協議会役員	社会教育関係者	
川岸 典子	石川県小学校長会(金沢市立西小学校長)	学校教育関係者	
普照 豊	石川県中学校長会(金沢市立浅野川中学校長)	〃	
末平 万紀子	石川県高等学校長会(県立ろう学校長)	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収（石川県立歴史博物館使用料条例第3条による徴収〔常設展〕）平成18年6月30日より

区 分	一般（18歳以上の者）	250円（200円）
	大学の学生及びこれに準ずる者	200円（160円）
※（ ）は20人以上の団体割引料金		

- ・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。
- ・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づく許可を受けている学校の学生。
(年令不問ただし証明するものがあること)

(2) 石川県立歴史博物館使用料等減免基準

(石川県立歴史博物館使用料施行規則第5条第1項第1号、2号、3号による使用料の減免)

項 目			減 免 後 の 入 場 料	
			常 設 展	特 別 展
第5条 第1項第1号		小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	無 料	無 料
第5条 第1項第2号		県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者	無 料	無 料
第5条 第1項第3号	1	身体障害者手帳又は療育手帳又は精神保健福祉手帳を所持する者及び社会福祉施設利用者	祝 日	団体料金
			その他	
	2	上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無 料	無 料
	3	65歳以上の者	祝 日	団体料金
			その他	
	4	入館を予定する学校団体の教師(下見)	無 料	無 料
	5	幼稚園、保育園等の団体の引率者	無 料	無 料
	6	取材目的をもって観覧する報道関係者	無 料	無 料
	7	資料調査を目的として観覧する者	無 料	無 料
	8	石川県博物館協議会会員証及び日本博物館協会会員証を所持する者(提示者本人と同伴者1人の計2名まで)	無 料	無 料
	9	歴史博物館招待券を所持する者	無 料	無 料
	10	歴史博物館れきはくメイト会員証を所持する者	無 料	団体料金
	11	石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証を所持する者	団体料金	団体料金
	12	金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を提示する者(提示者本人と同伴者1名の計2名まで)	団体料金	団体料金
	13	兼六園周辺文化施設鑑賞パスポートを所持する者(パスポート提示段階では徴収なし)600円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	14	兼六園・文化施設共通利用券(兼六園プラス1)を所持する者(利用券提示段階では徴収なし)個人500円、団体(30名以上)400円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	15	KGGN(金沢グッドウィルガイドネットワーク)の身分証明書を所持する者	無 料	無 料
	16	タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員及びボランティアガイド‘まいどさん’で客と同行して入場する者	無 料	無 料
	17	かなざわ冬の旅観光キャンペーンスタンプラリー参加者	団体料金	団体料金
	18	「ほっと石川観光倶楽部」の会員証を提示する者及び同伴者全員	団体料金	団体料金
	19	金沢市文化施設共通観覧券を所持する者	団体料金	団体料金
	20	ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者(事前に申し出た場合に限る)	無 料	無 料
	21	石川県職員互助会発行の県立美術館・歴史博物館共通利用補助券を所持する者(共通券提出段階で常設展は徴収なし、特別展は差額徴収)	無 料	団体料金から300円引いた額を徴収
	22	石川県教職員互助会の発行する石川県立歴史博物館利用券(特別展名入り)を所持する者(利用券提出段階で当該特別展の団体料金を徴収)	利用不可	団体料金
			(利用券に記載された特別展開催時のみ利用可)	
	23	金沢勤労者福祉サービスセンター発行の文化施設無料利用券を所持する者(利用券提出段階で常設展のみ徴収なし、特別展開催時は利用できない)	無 料	通常料金徴収
	24	金沢・加賀ぐるりんパスを所持する者(ぐるりんパス及びかえり券の提示段階では徴収なし)	料金はJR西日本が徴収	特別料金を別途徴収
	25	金沢・加賀百万石パスポートを所持する者(パスポート提示段階では徴収なし)大人2,000円で販売	料金はトップツアーが徴収	特別料金を別途徴収
	26	その他の理由により必要と認められる者	無料または団体料金	無料または団体料金

館長が特別の理由により必要と認めたととき

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和32年3月27日条例第14号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項、図書館法(昭和25年法律第118号)第10条、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第2条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、

次のとおりとする。

名称	位置	事業内容
石川県立歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和61年3月22日条例第24号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成18年6月30日石川県規則第43号)

(趣旨)

第1条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例(昭和32年石川県条例第14号)第11条の規定により、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 歴史博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室への入室は、午後4時30分までとする。

(休館日)

第3条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
- 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第4条 前2条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第5条 石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)は、次の各号の1に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- 前2号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第6条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- 館長の許可を受けずに、展示品の撮影、模写等をしていないこと。

- 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。

(7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第7条 歴史博物館が所蔵する資料(以下「所蔵品」という。)の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等(以下これらを「特別利用」という。)をしようとする者は、別記様式第1号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第1号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第1項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(第1特別展示室に限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしない

ことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む。)
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第20条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法(昭和25年法律第214号)又は石川県文化財保護条例(昭和32年石川県条例第41号)の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

(資料の受託)

第21条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成18年6月30日規則第43号)

この規則は、公布の日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例(平成18年6月30日条例第29号)

(趣旨)

第1条 この条例は、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第3条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表1のとおりとする。

(施設使用料)

第4条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者(別表2において「使用者」という。)から施設使

用료를徴収する。

2 施設使用料の額は、別表2のとおりとする。

(使用料の納付等)

第5条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第2項の規定は昭和61年4月1日から施行する。(昭和61年10月規則第43号で、同61年10月25日から施行)

2 石川県立郷土資料館入場料条例(昭和43年石川県条例第38号)は、廃止する。

附 則(平成元年3月24日条例第5号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成18年6月30日条例第29号)

この条例は、公布の日から施行する。

別表第1(第3条関係)

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体 (20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	250円	200円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	200円	160円

2 特別展示を観覧する場合

1,000円の範囲内で知事がその都度定める額

別表第2(第4条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金(次項において「料金」という。)を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
第1特別展示室	1日につき	18,400円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に100分の130を乗じて得た額備考

1 「1日」とは、午前9時から午後5時までをいう。

2 使用時間が1日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該1日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則(平成19年3月30日 規則第22号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例(昭和61年石川県条例第26号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第2条 条例第3条第1項の規定により入場料を徴収したとき(前納したときに限る。)は、当該被徴収者に別記様式第1号に規定する入場券を交付するものとする。

(使用料の後納)

第3条 条例第5条第1項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

(1) 旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。

(2) その他石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)が特別の理由により必要と認めるとき。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書きの規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。施設使用料の全額

(2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前10日までに使用の取消しを届け出たとき。施設使用料の100分の60に相当する額

(3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請求書に入場料の返還の場合にあっては、入場券を添えて、館長

に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。使用料の全額

(2) 生活保護法(昭和25年法律第144号)に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内に居住する者が入場するとき。使用料の全額

(3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和61年10月25日から施行する。

附 則(平成元年3月31日規則第25号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成7年月28日規則第33号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日規則第35号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則(平成18年6月30日規則第41号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年3月30日規則第22号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

V. 日記（抄）

平成24(2012)年4月1日～平成25(2013)年3月31日

平成24(2012)年

- 4.6 歴史体験コーナー「原始・古代編」(~9.2)
- 4.11 歴史スポット展示コーナー「『平家物語』を読んで、見る？」フロアトーク
- 4.19 展示準備休館(~4.20)
- 4.21 春季特別展「れきはく特選資料展ー収蔵庫からお宝登場ー」(~6.3)
春季特別展展覧会解説①
歴史スポット展示コーナー「東日本大震災から1年を振り返る」(~6.3)
- 4.23 春季れきはくボランティア(~6.8)
- 4.30 春季特別展収蔵庫ツアー①
- 5.3 春季特別展展覧会解説②
- 5.4 常設展示ワンポイント解説①「モダン金沢」
- 5.6 春季特別展建物紹介ツアー①
- 5.10 愛鳥週間関連企画「『能里』に会おう」(~5.16)
愛鳥週間関連企画「朱鷺の守り人 村本義雄展」(~6.3)
愛鳥週間関連企画 村本義雄氏ギャラリートーク①
- 5.11 春季特別展建物紹介ツアー②
- 5.14 れきはくメイト 春の歴史散歩「新緑の卯辰山寺院群」
- 5.15 愛鳥週間関連企画 村本義雄氏ギャラリートーク②
- 5.17 古文書とお友だち①
- 5.19 れきはくゼミナール①「金沢武士のおもしろ絵日記」
- 5.22 春季特別展展覧会解説③
- 5.25 春季特別展建物紹介ツアー③
- 5.30 春季特別展収蔵庫ツアー②
- 6.1 常設展示ワンポイント解説②「加賀藩の大名行列」
- 6.2 春季特別展建物紹介ツアー④
- 6.4 展示準備休館(~6.5)
- 6.6 歴史スポット展示コーナー「小さな石に命の軌跡～堀本松雄 石器コレクションの世界～」(~7.11)
- 6.16 れきはくゼミナール②「白山登拝のはじまり」
- 6.19 古文書とお友だち②
- 6.24 第15回石川の歴史遺産セミナー「近世初期の前田家と能登」(講師:藤田 達生氏、見瀬 和雄氏、木越 隆三氏)
- 6.26 れきはくメイト 初夏のバスツアー「上越紀行ー北国街道の史跡をたずねてー」
- 6.27 わく・ワーク(職場体験)受け入れ [金沢市立兼六中学校 ~6.29]
- 7.3 中学生キャリア体験(職場体験)受け入れ [金沢市立額中学校 ~7.5]
- 7.6 常設展示ワンポイント解説③「白山麓の収穫儀礼『ナギカエシ』」
- 7.11 古文書とお友だち③
- 7.12 展示準備休館(~7.13)
- 7.14 夏季特別展「マンダラーチベット・ネパールの仏たちー」(~9.2)
併設企画展「北陸の曼荼羅」
夏季特別展講演会①「『般若心経』と色即是空」(講師:国立民族学博物館名誉教授 立川 武蔵氏)
歴史スポット展示コーナー「加賀・能登のお弁当箱」(~9.2)
- 7.18 歴史スポット展示コーナー「加賀・能登のお弁当箱」フロアトーク①
- 7.21 れきはくゼミナール③「涅槃図」考
- 7.24 キャリア体験(職場体験)受け入れ [金沢市立紫錦台中学校 ~7.26]
- 7.28 夏季特別展講演会②「日本の曼荼羅文化」(講師:種智院大学名誉教授 頼富 本宏氏)
- 7.30 博物館学芸員実習受け入れ(~8.4)
8.3 常設展示ワンポイント解説④「古墳に葬られた豪族たち」
8.4 夏季特別展列品解説(講師:金沢大学教授 森 雅秀氏)
- 8.11 夏季特別展併設企画展列品解説
- 8.18 れきはくゼミナール④「『軍都』金沢と遊廓」
- 8.22 歴史スポット展示コーナー「加賀・能登のお弁当箱」フロアトーク②
- 8.30 インターンシップ受け入れ(~8.31)



ボランティア研修 [古代編]



春の歴史散歩 [玄門寺]



愛鳥週間関連企画「朱鷺の守り人」
村本義雄展ギャラリートーク



初夏のバスツアー [浄興寺]



歴史スポット展示コーナー
フロアトーク

- 9.3 展示準備休館(～9.4)
- 9.5 古文書とお友だち④
- 9.7 常設展示ワンポイント解説⑤「日本硬質陶器について」
- 9.11 歴史体験コーナー「中世編」(～H25.2.28)
- 9.12 第3棟(第5～第8展示室)閉鎖
- 9.15 れきはくゼミナール⑤「埴輪群像を読みとく」
- 9.24 秋季れきはくボランティア(～11.9)
- 9.29 第16回石川の歴史遺産セミナー「石動山の信仰と文化」(講師:東四柳 史明氏、瀬戸 薫氏、桜井 憲弘氏)
- 10.1 特別企画展「発見! 地域お宝自慢」(～10.21)
古文書とお友だち⑤
- 10.2 兼六園周辺文化の森 ミュージアムウィーク ミニ・コンサート「ハープの魅力」
- 10.4 兼六園周辺文化の森 ミュージアムウィーク 文化の森ミニツアー「秋の歴博探検隊」
- 10.5 常設展示ワンポイント解説⑥「畠山義総画像について」
- 10.8 特別企画展「発見! 地域お宝自慢」ギャラリートーク
- 10.10 れきはくメイト 秋の歴史散歩「小立野一前田家ゆかりの寺を訪ねて」
- 10.16 トライやる・ワーク(職場体験)受け入れ [金沢大学附属中学校 ～10.18]
- 10.20 れきはくゼミナール⑥「東日本大震災と、その教訓」
- 10.28 第17回石川の歴史遺産セミナー「渤海研究の最前線」(講師:酒寄 雅志氏、小嶋 芳孝氏、古畑 徹氏)
- 11.1 古文書とお友だち⑥
- 11.2 常設展示ワンポイント解説⑦「海辺の絵馬堂」
- 11.5 れきはくメイト 秋のバスツアー「深秋の美濃白鳥ー白山信仰の里を訪ねて」
- 11.7 わく・ワーク体験(職場体験)受け入れ [石川県立金沢錦丘中学校 ～11.9]
- 11.8 企画展『ふれてみる いしかわの文化展』(～11.12)
- 11.12 マンドリン ミニコンサート
- 11.14 いしかわ県民大学校「歴史講座」開講式、①「石川の原始」
- 11.17 企画展「珠洲古陶の美ー珠洲焼コレクション展ー」(～12.16)
れきはくゼミナール⑦「デザインをまとうー染織の意匠ー」
- 11.21 いしかわ県民大学校「歴史講座」②「石川の古代」
- 11.24 企画展「珠洲古陶の美ー珠洲焼コレクションー」展示解説①
- 11.28 いしかわ県民大学校「歴史講座」③「石川の中世」
- 12.5 いしかわ県民大学校「歴史講座」④「加賀藩政」
- 12.7 常設展示ワンポイント解説⑧「幕末の加賀藩」
- 12.8 企画展「珠洲古陶の美ー珠洲焼コレクションー」展示解説②
- 12.12 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑤「中近世の絵画」
- 12.15 れきはくゼミナール⑧「マネキン以前ーショーウィンドウの文化史ー」
- 12.17 古文書とお友だち⑦
- 12.19 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑥「石川の文化財ー中世・近世を中心にー」
- 12.27 年末年始休館(～H25.1.3)

平成25(2013)年

- 1.4 企画展「学芸員の眼ーとっておきモノがたりー」(～2.17)
- 1.9 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑦「近現代の石川」
- 1.11 常設展示ワンポイント解説⑨「律令制下の農民負担」
- 1.12 企画展「学芸員の眼ーとっておきモノがたりー」フロアトーク①
- 1.16 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑧「石川のことば」
- 1.19 れきはくゼミナール⑨「加賀藩と米」
- 1.23 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑨「石川の民俗文化財」
- 1.24 古文書とお友だち⑧
- 1.26 企画展「学芸員の眼ーとっておきモノがたりー」フロアトーク②
- 1.30 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑩「石川のまつり」、閉講式
- 2.1 常設展示ワンポイント解説⑩「真脇人のイルカ漁」
- 2.9 企画展「学芸員の眼ーとっておきモノがたりー」フロアトーク③
- 2.16 れきはくゼミナール⑩「加賀国府を考える」
- 2.20 古文書とお友だち⑨
- 3.1 全館休館



ミュージアムウィーク
「ハープコンサート」



ミュージアムウィーク
「歴博探検隊」



秋の歴史散歩 [天徳院]



秋のバスツアー [白山中居神社]



資料移転作業

石川県立歴史博物館 年報
第16号 平成24年度版
平成26年 3月31日発行

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町 3番 1号
TEL (076) 262-3236
印刷 前田印刷株式会社



石川県立歴史博物館